

当院のカバーする北勢地域は三重県の小児人口の半数が在住しており、量的にも質的にも充実した医療の提供が必要とされています。

当科は、小児科専門医7名（うち指導医5名）、後期研修医4名により、地域の医療機関と連携しながら、また、院内各科の先生方の援助も頂きながら、日夜努力をつづけております。以下に当科の各部門の概略を示します。

### ◆ 周産期母子センター（3階東病棟）

周産期母子センター・未熟児新生児集中治療室（NICU 6床、GCU 12床）  
県内で初めて NICU の認可を受けた歴史があり、平成27年には増改築による増床も行われました。昨年より周産期新生児専門医が2名となり、極低出生体重児の入院数が増加しております。また、NCPR（新生児蘇生法）インストラクター4名により、年間に NCPR-A コース2回、Bコース2回、Sコース2回を開催し、院内の周産期スタッフのみならず、地域の周産期医療施設のスタッフ教育に取り組み、北勢地域の新生児予後の向上に尽力しております。

### ◆ 一般小児科病棟（21床）

感染症、神経・代謝性疾患、川崎病などの急性・炎症性疾患の治療に加え、内分泌・代謝疾患・神経疾患などの入院精査も行っています。また近年要望の増えている食物アレルギー負荷試験も行っています。集中治療を要する疾患についても当院の救命救急センターの協力のもと、治療にあたっております。

### ◆ 外来診療

小児科専門医により小児疾患全般の診療にあたっており、小児神経専門医、アレルギー専門医の専門外来、周産期新生児専門医による発達外来も行っております。また、月に1回、三重大学より小児心臓専門医による専門外来も行っております。

### ◆ 救急外来

小児救急の特殊性、地域からのニーズを考慮して対応しております。特に、紹介いただいた患児は原則24時間お断りすることなく対応させていただいております。

### ◆ 平成29年診療実績

一般小児科病棟入院患者数：1624人

うち、食物アレルギー負荷試験36人、内分泌負荷試験22人

一般小児科外来患者数：14560人

救急外来小児科患者数：2345人

NICU+GCU 入院患者数：243人

うち超低出生体重児：10人（前年2人）

極低出生体重児：26人（前年4人）